

羽石光志

はねいし

日本畫家、歌人。明治二十六年一月一日栃木縣井賀

郡茂木町生れ、明治六十二年五月十一日歿（一九三二八八）。本名弘志。

大正五年順天中學校在學中小堀勲音に入門、八年川端畫學校入學。十

五年須賀田廣介の紹介により雑誌『少年俱樂部』、『キンブ』等の插

畫を執筆、爾來歴史小説の插畫、裝幀畫、繪本等多數を手掛ける。昭

和八年勲音歿後は川崎小虎に師事。十九年東京美術學校講師、四十一

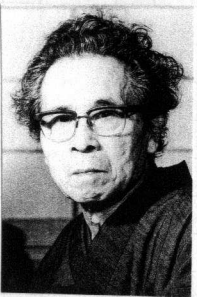
年法隆寺金堂壁畫再現模寫に參與、四十六年日光東照宮陽明門大井板

繪に龍圖復元に携はる。また同年雑誌『大法輪』歌壇に投稿を始り、

四十八年漢者の窪田章一郎主宰誌『まほひる野』に入會。

歌集『白き蝶』（平成六年五月十一日羽石修子刊）『まほひる野叢書』（

刊。



歌集 白き蝶

歌集 白き蝶

羽石光志

白き蝶